

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	経済学Ⅱ		（ NGB22J ）
講義名（コード）	経済学Ⅱ		（ NGB22JX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	経済が企業経営や日常生活に及ぼす影響などを事例と共に学ぶことで、社会人としての常識となる経済理論を習得する。また、実践的なワークを通じて経済活動を身近に感じることで労働意欲の醸成につなげる。
全体の内容と概要	「日常生活」「企業活動」「貿易」「金融」などの分野における経済理論やそれに伴う現在の国内や国外の経済情勢を座学にて理解する。また「模擬ビジネス」を通じて経済活動を実践してみる。
授業時間外の学修	地域経済のモデルケース視察や模擬ビジネス展開のための実践ワークなどを進捗に合わせて計画する。
履修上の注意事項等	授業での言語は原則日本語で実施するため、ヒヤリングできる程度の日本語語学力が必要。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・前期授業の振り返り ・グループコミュニケーションと最終目標の設定
2	金融における経済理論を理解することができる	・「貨幣」の役割と機能 ・日本銀行と金融機関の役割と機能
3	金融における経済理論を理解することができる	・「インフレ」と「デフレ」の仕組み ・過去の日本の経済を振り返る
4	現在の世界経済を理解することができる	・日本経済の現状と課題 ・世界経済の現状と課題
5	日本の産業別の動向を理解することができる	・日本の産業別経済規模の理解 ・スタートアップに関する現状と課題
6	行動経済学の概要を理解することができる	・行動経済学の考え方 ・行動経済学の代表的な法則
7	学んだことを活かして自分の考えをまとめることができる	【実践ワーク】 ・会社を作ってみよう ・取り扱う商品やサービスを検討する
8	学んだことを活かして自分の考えをまとめることができる	【実践ワーク】 ・ライバル企業を調査する ・商品仕入れ先の検討 ・商品の価格決定
9	学んだことを活かして自分の考えをまとめることができる	【実践ワーク】 ・販売戦略と販売予測 ・収支予測と利益確保
10	自分の考えを人前で発表することができる	【実践ワーク】 ・各自の検討した事業内容を発表する
11	貿易における経済理論を理解することができる	・「円高」と「円安」の考え方 ・相場が経済にもたらす影響
12	貿易における経済理論を理解することができる	・国際収支とインバウンドの関係性 ・各国の国際収支を比較してみる
13	貿易における経済理論を理解することができる	・WTOの役割とTPPの理解 ・EUに見る地域経済統合のメリットとデメリット
14	期末テスト	・記述式テストの実施
15	テスト内容のフィードバック	・テスト内容に関するフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	特になし（独自資料の作成）
参考文献・資料等	ビジネス教養「経済学」（井堀利宏 著・新星出版社）他
備考	